

KANEYAMA
地域おこし
協力隊がゆく!



柴田琢磨 隊員

お久しぶりです、協力隊の柴田琢磨です。10月で金山町に住み始めて丸1年が経ち、ようやく年間を通じた金山町の生活を知ることができました。町の方々からは、消防の活動や金山まつりが終わったら、少し落ち着けるという話をお聞きしていましたが、全くそういうことはなく、非常に慌ただしいながらも楽しみながら活動させていただいています。前回の報告のあと、9月23日に郡内の協力隊で、谷口がっこそぼ協賛のもと家族向けのイベントをさせていただきました。金山町開催ということで主動力は僕たち金山町協力隊となるのですが、準備の時点で人がもう1~2人ほしいという話になり、やはり大きな課題は足りない人手をどう補うかという点で、今後活動していくうえでも色々考えて試行錯誤していきたいと思います。

金山町の人口は、5,698人

9月末現在

男性 2,771人 (-4)

女性 2,927人 (-5)

世帯数 1,771世帯

9月の異動 ●出生/3人 ●死亡/11人
●転入/4人 ●転出/5人

編集
幸記

▼14年目を迎えた子供伝統芸能発表会。今年も、本番前の楽屋にもお邪魔し、子供たちを取材させていただきました。みんな緊張しているのかと思いきや、実際はその逆。自信に溢れた表情で、てきぱきと準備をする子供たちがそこにはいました。「少し緊張するけど、やっている間は楽しい！」口々に伝統芸能ができる喜びを話す子供たち。中には、すらすらとセリフを披露してくれた子もいました。とても嬉しく、そして頼もしく思いました。取材を通して、子供たちからも多くのことを学んでいます。(つま)

芸術の秋を
楽しもう! 金山さんち!



芸術文化協会舞台発表会は11月11日に開催されます!
町内在住: 小栗こぐり

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぼすと内

No.143



『しょうじき50円ぶん』

(くすのきしげのり/作 長野ヒデ子/絵 廣済堂あかつき)

ぼくと弟のあつしは野球の練習が終わったあと、汗だくのユニフォームを着たままお店で冷たいジュースを買った。ぼくが五百円玉をおばちゃんに渡してあつしが三百円おつりをもらった。帰り道、ぼくはあつしの財布を受け取って中味を確かめた。「これは二人の大切なお小遣いだからね、あれ?」おつりが五十円足りません。ジュースを買ったときおばちゃんが百円玉を一個、五十円玉と間違えたみたいです。おばちゃんのお店にいて、五十円をもらってきました。次の日二人はたこ焼きを買いにいき、今度はおつりが五十円多かったです。さて、このあと二人は?

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



▼南風吹く
森谷明子/光文社



▼小さな習慣
スティーヴン・ガイズ/ダイヤモンド社

航太は瀬戸内海の五木島の分校に通う高校3年生。球技部を引退してから、ひよんなことから俳句甲子園を目指す日向子のメンバー探しを手伝うことになる。エントリーに必要な最低人員が揃い本格的に俳句甲子園を目指すとした矢先、航太の祖母が倒れてしまふ。十七音にける熱い想いとひとむきさが輝く!

目標はばかばかしいくらい小さくしろ!と巻頭に記されている。小さすぎてばかばかしいと思う行動が、大きな結果を生み出す!小さな習慣は、歯を磨くのと同じくらい簡単に生活に組み入れられる、不調の日も気分に関係なく実行できる、集中力を高める効果がある、間抜けな脳を騙して潜在意識をコントロールする!

11月新刊本

- 十代のきみたちへぜひ読んでほしい憲法の本 / 日野原重明
- 睡眠教育のすすめ / 木田哲生
- ジャパン・トリック / 岩城けい
- くらしのありがみとちまごころ紙小物 / 荻野善之
- 算数嫌いな子が好きになる本 / 松島伸浩
- 電子レンジで簡単!笑顔こぼれるデコ和菓子 / 鳥居満智栄
- 科学的に元気になる方法集めました / 堀田秀吾
- マンガで身につく自分コントロール / 大野直人
- 大人のADHD / 司馬理英子
- ひざの痛みがスッキリ消える / 野本聡
- この世の春(上下巻) / 宮部みゆき
- オリンピックがやってきた / 堀川アサコ
- 犬から聞いた素敵な話 / 山口花

ぶんげい
金山杉俳句会報 第四〇九回

日昏るるも忘れ戯る猫じゃらし 昭子
朝霧のほのかに匂ふ野菊かな 洋子
軒に揺れ夕日に染みし唐辛子 サダエ
夕霧にうすくつつまる町あかり 敏子
碑の文字のうすれや雁は行く 順子
篠の子や厨ことと地恵み 敏子
健やかを心に二尾の秋刀魚買ふ 敏子
夕ぐれの風に波立つ蕎麦の花 よし子
どんぐりや園児の帽子籠となる 順子
髪染めて耳敏くなるこぼれ萩 順子
優しくて人恋しくて秋の風 順子
そこだけが風がある如秋ざくら 順子

かねやま紅風会
荒屋 阿部 勝子
一品は畑で 算段秋彼岸
立秋や亡夫と語らふお茶を点て
間引き菜をかみしめ想ふ過ぎし日を
コスモスは愁ひを誘ふ花なりき
菅越 庄司けみ子
湯上がりの髪の匂へり夕月夜
ありがたう互ひに交はす秋桜
禅の苑朝霧ふかく鐘しずか
薄紅葉絶えぬお香の成田山
羽場 坂本徳太郎
秋茜とばすゴルフを躊躇はす
鬼灯を集め妻への供物とし
上 阿部 一
穂ススキや参勤しのぶ七ヶ宿
秋澄めり小坂峠の大鳥居
七日町 村松 奈風
鷺山の句碑を訪ふたり竹の春
動力の去りて定まる刈田かな